

分野連携企画報告書

行事（企画）名

部門講演会OS「少子高齢化社会を支えるスポーツ・バイオ技術」

行事URL <https://www.jsme.or.jp/conference/shdconf21/>

1.開催日・会場 2021年11月12～14日・オンライン

3.企画内容

本企画は、学会横断テーマの中でも特にSHD、BE部門との関連が深い「少子高齢化社会を支える革新技術の提案」に関する両部門における取り組みに講演発表および議論の場を与え、本テーマの加速的発展に資することを目的としています。また内容にふさわしい外部専門家による基調講演を、部門講演会の特別講演も兼ねる形で行います。

4.連携の成果

本OSには4件の一般講演発表があり、活発な議論が交わされました。また「フレイル」研究の第一人者である東京大学高齢社会総合研究機構の飯島勝矢教授による「人生100年時代を元気で乗り切るために－健康長寿鍵は“フレイル予防”－」と題する基調講演が行われました。本基調講演は部門の特別講演も兼ねてその時間はシングルセッションとしたため、講演会全参加者が聴講でき、大変な好評を博しました。

2.企画部門

スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス(SHD)部門
バイオエンジニアリング(BE)部門

5.今後の課題（苦勞した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

基調講演としてふさわしい方を探すのに苦勞しました。また今回、基調講演をお願いした飯島先生は、本学会からは完全に外部の医学の研究者であり、ツテなどもまったく無かったので講演をどのように依頼するか検討にも時間を要しました。ただ依頼してみると二つ返事でOKをくださりありがたかったです。飯島先生ご自身も、工学の研究者との連携は重要と考えておられるようで、本学会の学会横断テーマ「少子高齢化社会を支える革新技術の提案」の重要性を企画側としても改めて認識した次第です。